中少尉ヲ奏任ニ進ムルモ當分四等ニ依リ
判任ニ同ク宿直セシム

陸軍省達　諸局東京鎮臺

條例書第十五條第三則判任官ハ毎局順番宿直可致
儀ニ候處今般少尉以上奏任ニ被仰出候得共宿直ノ
儀ハ判任官同様可相勤候此旨相達候事

六年五月十五日　陸軍省第　號

淵鑑

公文類纂　明治　年

校正　勝岡　杉

大佐以下少尉以上ハ達書ヲ以テ本人所管ニ送ル

陸軍省達

奏任官以上官記位記共参朝之上御渡可相成候正例
之処自今武官大佐以下少尉以上前條之節ハ封書ヲ
以テ当省ヘ被相渡候様御改定ニ付テハ前文官記位
記ハ勿論本省ノ諸達書モ封書ヲ以テ本人ノ所管ニ
付シ候間各所管長官ヨリ可相渡且文官奏任以下
本省ヨリノ達書ハ右ニ準シ封書ヲ以テ相渡候此旨
相達候事　六年五月廿日
陸軍省第規則